

目黒周辺タウンウォーク

記録 HS

期 日：2月12日（日） 晴

コース：JR 目黒駅 10：00～10:15 国立科学博物館付属自然教育園 11:00～
11:05 東京都庭園美術館 11:50～12:05 大円寺 12:20～12:25 目黒雅叙園
12:45～13:00 五百羅漢寺 13:00～13:25 目黒不動尊 13:50～13:55 林試
の森公園 14:30～14:40 武蔵小山駅

参加者：HS、FI、RI、CO、SA、MK、MN、MS、SS、MY、MK、SK

報 告：晴天の下目黒駅を起点に山手線の内側と外側に今も残る貴重な自然と神社等の江戸文化を探訪した。



おしゃれな街白金台に在る自然教育園は、武蔵野の自然をほぼ完全に残し都心とは思えないほど豊かな雑木林が広がり、動植物が自然のままに生息する変化に富んだ広大な園内を散策、早春の訪れを知らせるフキノトウ、可憐なキリンソウ、重厚な黒松、池の側の樹間を飛び交うカワセミ、葎の茂みのシロサギなどを興味深く観察できた。

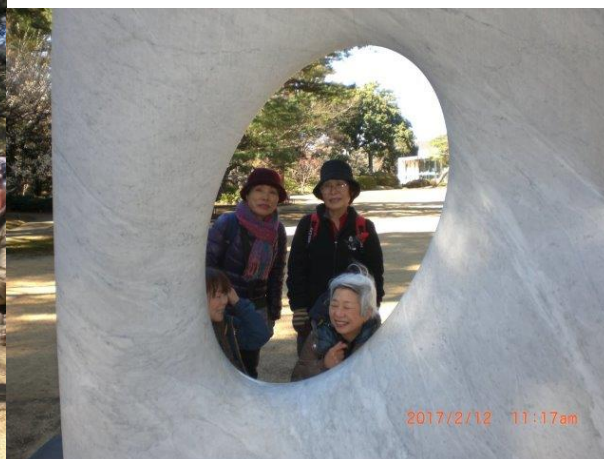


この地は平安時代の豪族“白銀の長者”の館に始まり、外的から守るために築いた土塁跡がそこに残っているのも観察できた。

次に隣接する庭園美術館へ。



旧朝香宮邸として建てられたアール・デコ調の建物が美術館となっていてその傍らの和洋両風の庭園を散策、こちらは手入れが行き届いて丁度見頃の梅の木は絵にかいたような見事な枝ぶり、一巡後青空の下広い芝生の日当たりの良い位置で昼食休憩



庭園内にあるオブジェで記念写真

この後、目黒駅方面に戻って山手線を跨ぎ、目黒川に向かう急勾配の行人坂を下る途中に在る大円寺に向かう。



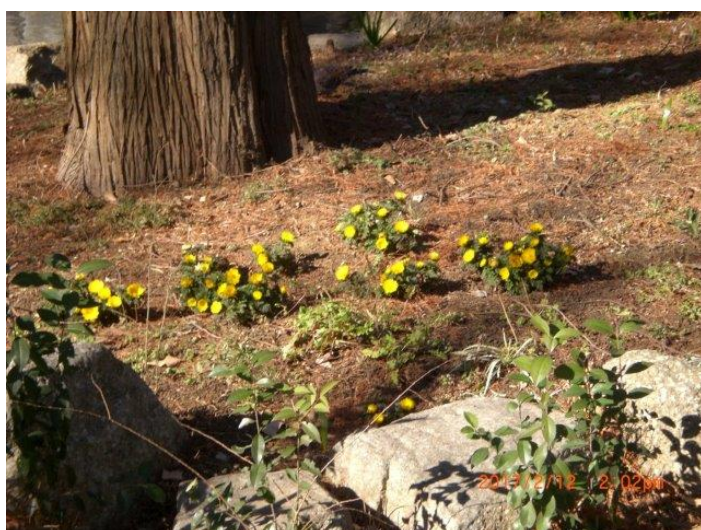
江戸の3大火事といわれた行人坂火事の火元として76年もの間再建が許されなかったと言われている。境内に目につく羅漢の石仏群は、この大火の供養のために50年の歳月を掛けて完成したといわれる重要文化財。急坂を下った地に巨大な総合結婚式場である目黒雅叙園があり、大勢の見物客で賑わっている館内を見学した後、目黒川、山手通りを渡ると多くの寺社が立ち並ぶ一帯にある五百羅漢寺を見学し、目黒不動尊に向かう。



目黒不動尊の境内で記念撮影

目黒不動尊は幕府の手篤い保護を受け江戸近郊における有数の参詣・行楽地となり門前町として賑わったという。

コース最後の林試の森公園は明治時代に山林局林業試験場が発足したのが始まり、一般の人が足を踏み入れられなかったため、広大な敷地に貴重な緑が沢山残っている。今は一般に開放されており、都民の貴重な憩いの場になっている。園内に入ると、河津桜のピンクの桜が丁度見頃で樹下で憩う人たちやカメラを向ける人たちを大勢見かけた。



池のほとりに早春のシンボルであるフクジュソウや可愛らしいボケの花を見掛けほっこり気分になった。これで都心ののんびり散策を終え武蔵小山駅に向かい、冷えた身体を温めてくれるはずの反省会場に向かった。皆さん、お疲れ様でした。